

今日のトピック 南アフリカの金融政策（2017年5月）

現状維持が続く、政治リスクは引き続き通貨不安定要因

**ポイント1 政策金利を据え置き
市場の予想通り**

- 南アフリカ準備銀行（中央銀行、以下中銀）は25日の金融政策委員会で、政策金利（レポ金利）を7.00%に据え置くことを決定しました。据え置きは、市場の予想通りです。前回会合に引き続き、6名の委員のうち5名が据え置きを支持した一方、1名が利下げに票を投じました。

**ポイント2 経済見通しを下方修正
物価は中銀目標内の推移を見込む**

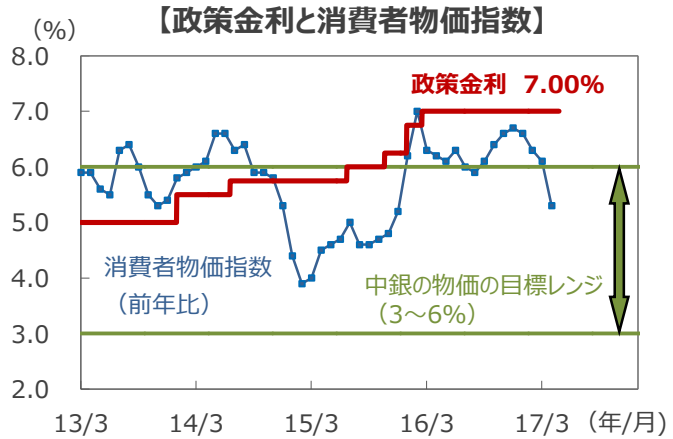
- 中銀は経済見通しについて、実質GDP成長率は17年を前年比+1.0%、18年を同+1.5%、19年を同+1.7%と予想しています。全体に前回から小幅に下方修正されましたが、引き続きプラス成長を維持し、足元から19年にかけては成長率が加速する見通しとなっています。
- 物価見通しについては、17年から19年にかけて同+5%台と、中銀の物価目標レンジ（同+3~6%）内に収まる見通しを維持しました。原油価格と国内電力料金の想定を引き下げたことから、17年、18年の見通しは前回から小幅に下方修正されました。

今後の展開

現状維持の見込み、政治リスクは通貨不安定要因

- 4月の消費者物価指数は市場予想を下回って3月から大幅に低下したものの、物価目標レンジの上限に近い水準にあり、政策金利は当面据え置かれる見込みです。こことも南アフリカでは政治の混乱が続き、4月には大手格付け会社のS&Pグローバル・レーティングが債務格付けを引き下げました。こうしたことが今回の中銀の成長見直し引き下げの背景であり、通貨ランドの下落要因となってきました。政治リスクは引き続きランドの不安定要因と見られます。

ここもチェック! 2017年5月26日 「FOMC議事要旨」と金融政策（米国）
2017年4月 4日 南アフリカの格下げ（2017年4月）



(注) 政策金利は2013年3月1日~2017年5月25日。
消費者物価指数は2013年3月~2017年2月。
(出所) Bloomberg L.P.、南アフリカ準備銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データは2015年1月1日~2017年5月25日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成